郷土こうなぁ

イワツバメ（岩燕）

夏鳥（暖かくなると出てくる鳥）で、普通のツバメと比べて小さめで尾が短い。建物の軒下や橋梁などに泥を集めて巣をつくる。昔はあちこちにいたらしいけれど、天敵のカラスが増えて数が減ってきている。

神様のアシアト

春。
　大きな桜の木にたくさんの花が咲きました。私はきめたんです。今日からこの桜を見て行こうと思います。ずっとずっと見て行こうと思います。

快晴。
　夏休みまであと三日。暑すぎる教室。今日はこの夏最高の暑さになるとかなんとか。べつにそんな暑くなくていいし…。
　六年三組の教室は人口密度が多いせいか外のほうがむしろすずしく感じる。クーラーなんてないからみなさん下じきをうちわがわりにしているのでそこらへんから「パコパコ」てかんじで気が抜けた音がする。最初は「音がうるさいからやめなさい。」と言っていた先生も叱ってもやめる気ゼロと判断したらしい。無視して授業続行中。だけど全体の三〇%しか真剣に授業を聞いてない。あとの七〇%はやりたいほうだい。後ろをむいて話してるやつもいれば、寝てるやつもいる。ゲームやってるやつもいるし、さすがにそれはやばいだろうと思ったけどチクったらチクったで色々たいへんだからやめといた。私は先生の話を聞くわけでもなく騒いでいるわけでもなくただボーと窓から外の景色をながめている。（私の席はありがたいことに窓側。）

（次号に続く）

小説 …のつづき

図書館のあの人にインタビュー!!

今回は中央図書館の館長「菅井さん」にインタビューしました。

イ→インタビュアー
菅→菅井館長

イ「よろしくお願いします。お名前は？」
菅「**菅井憲一です**」
イ「生年月日と血液型を教えてください」
菅「**昭和二十年、西暦だと一九四五年の十一月二十五日。え〜と…B型です**」
イ「いつ頃この図書館にいらっしゃいましたか？」
菅「**昭和四十七年、一九七二年。図書館が始まった時からですね。だからこの図書館は三十四年の歴史なんですよ**」
イ「身分を教えてください」
菅「**館長ですよ（笑）**」
イ「趣味はなんですか？」
菅「**やっぱり本を読むことですね**」
イ「自信を持って発表できる特技はありますか？」
菅「**そんな質問は想定外だなぁ（笑）オートバイなら何でも乗れますよ。大きなものでも**」
イ「館長という仕事をしていて、良かった事や嬉しかった事はありましたか？」
菅「**ん〜。いっぱいありますよ。でも今日インタビューしてもらえた事かな**」
イ「（照）ちなみに、小さい頃の夢はなんでしたか？」
菅「**学校の先生でしたね**」
イ「それは、小学校や中学校…どの先生になりたかったですか？」
菅「**中学校の先生になろうとずっと思っていました**」
イ「館長さんは三月で、この図書館を辞めてしまうときいたのですが…本当ですか？」
菅「**はい。定年の六十才に退職するという市役所の決まりで…**」
イ「ズバリ！おすすめの本を！」
菅「**おすすめの本ですか…。『ナルキリがないですよ。『ナルニア国物語』や『モモ』などを中学生にすすめたいですね。でも、本は人に言われたのではなく自分でこの本はいい本だなぁ〜とみつけていくことが、大事ですよ**」
イ「では最後に、利用者の方へ一言！」
菅「**そうですねぇ。図書館をたくさん使ってもらいたいですね**」

館長の菅井さん、お忙しい中インタビューに答えていただきありがとうございました☆

イラスト
出版社の許諾を得られませんでしたので、削除します

いきなり!!アンケート

最近楽しかったことってナニ？

福生一中男子の場合…

学年末テストでやっと点数が上がった！

買いたいものが無くて意味無く貯めた貯金が一万円になった！

編集後記

楽しかったです。高校生になっても、きっと続けていきたいです。多分…ね。
デーイ㋐

3号キターー！「チョイ」
ワーイワーイまさか3号までだせるとは思わなかった。高校生になってもファイトでいく!!

高校に入ったら大変だと思うけど今回も楽しく出来たので次回も出来るといいです。誰か応援して下さーい
「J」

えー…と、だれかホントに男子来て。次の号で一周年ですよ?。次の号も作りたいので、だれか、男子来て〜〜…。

㊗高校いってもやりたいな 第三号できました ゆっくりよんで下さいでもすっ

あっという間に3号目!! いそがしくて少ししか参加できなかったけど次回もよろしくお願いします!
R

今回は小説を書かせていただきました。もうドキドキのワクワクで…。長々しくなると思いますが、まぁ気長につき合って下さい。